

よみきかせボランティアのための

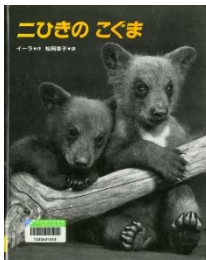


おすすめえほん

小学1・2年
おすすめ

『二ひきのこぐま』

イーラ／作 松岡享子／訳 こぐま社(約7分)



春を待ちかねて、外へ出てきた二ひきのこぐま。お母さんの留守に、言いつけを忘れ草原をどろんどろんかけ、遊びに夢中になるうち、家から遠く離れてしまう。迷子になった二匹は、心細くなるが、なんとか家に帰ろうと歩き出す。実際のこぐまを撮らえたモノクロの写真で描かれた温かいストーリーの絵本。

2015
春号



学校などでの読み聞かせのポイント⑫

読み聞かせをするとき、最も大切なのは、**絵本選び**です。まずは30年、40年と読み継がれてきた**ロングセラーの絵本**を取り上げましょう。長年、子どもたちが支持してきた絵本は、世代を超えて子どもたちを喜ばせることのできる絵本です。

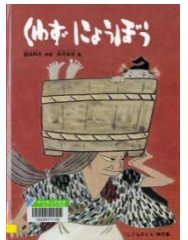


『くわすによぼう』

稲田和子／再話 赤羽末吉／画 福音館書店(約7分)

昔、欲張りな男が、働き者で飯を食わない女房が欲しいといっていると、飯を食わないという女がやってきた。早速その女を女房にしたが、女は鬼婆だった。鬼婆に追いかけられる男を、菖蒲や蓬が守ってくれるという端午の節句にちなんだ昔話絵本。p. 28-29の文章がない場面では、p. 27の文章「おとこは にげて にげて・・・」以降を読むとわかりやすい。

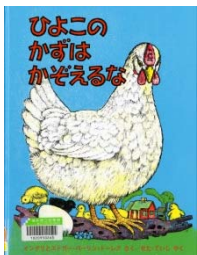
小学3・4年
おすすめ



小学5・6年
おすすめ

『ひよこのかずはかぞえるな』

イングリとエドガー・パーリン・ドーリア／作 せたていじ／訳 福音館書店(約8分)



毎日休まず卵を産む雌鶏を飼っているおばさんは、36個の卵を持って街に売りに出かける。その道すがら、売ったお金の使い道を考えはじめる。「この卵を売ったら、雌鶏をもう2羽買って、次は3羽。それからガチョウを2羽と子羊を1匹。」と夢が広がり、あげく大農場の奥方様になるという空想にふけるが…。諺を基にした笑い話。

県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

子ども室カウンターでも、ご質問などをお伺いしています。



発行：福井県立図書館子ども室
(2015. 3発行)

〒918-8113 福井市下馬町 51-11
Tel. 0776-33-8860

福井県 図書館

検索